

6-2 施策の推進

本計画の目標実現に向けた施策について、基本方針ごとに具体的な取組を示します。

行政が旗振り役となり、率先して施策を推進するとともに、住民、事業者と協働し、一丸となって脱炭素化を進めます。

基本方針Ⅰ 省エネルギー対策の推進

私たちの日常生活に欠かすことのできない電気、ガス等はもちろん、現代社会の基礎になっている運輸、通信等はすべてエネルギーを利用しています。脱炭素に向けて、まずは、エネルギー消費量を減らす、いわゆる省エネルギー対策を推進し、温室効果ガスの大部分を占めるエネルギー起源の二酸化炭素排出量を削減する必要があります。

省エネルギー対策には、こまめに電源を切るなどの身近な取組から、省エネタイプの設備・機器を導入するといった費用がかかるものまで幅広くあります。

まずは、一人一人が省エネルギー対策を意識し、できることから実践することが大切です。

施策Ⅰ 暮らしにおける省エネルギー対策

省エネルギー性能に優れた新築住宅、リフォームの普及を進めるとともに、エネルギー使用量を把握し、適切な省エネ手法について情報提供や支援を行うことにより、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換を促進します。

1-1 住宅の省エネ促進

市	● 新築の住宅における ZEH について普及啓発する。 ● 住宅の高気密・高断熱化等の省エネ化に関する効果や補助制度について情報提供する。
市民	● 既存の住宅について、二重窓をはじめとした断熱化や設備の高効率化等の省エネ改修の実施を検討する。 ● 住宅の新築にあたっては、ZEH を検討する。 ● すだれや遮熱性の高いカーテンを活用する。

※ZEH:「Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略で、家庭で1年間に消費する一次エネルギー量の収支が、正味ゼロまたはマイナスになる住宅のこと。

1-2 省エネ機器の導入促進

市	● 高効率の空調設備、照明機器、給湯器等について情報提供する。 ● 機器導入にかかる補助について情報提供する。
市民	● 古くなった家電を省エネルギー製品に買い替える。

1-3 エネルギー消費量の見える化の促進

市	● 岐阜県内の家庭を対象とした二酸化炭素排出削減量が見える化する「ぎふエコアクション」の周知を図り、エネルギー消費量や二酸化炭素排出量の見える化を促進する。 ● HEMS※（ホームエネルギーマネジメントシステム）の情報提供を行う。
市民	● 家庭で使用する電気、ガス、灯油、ガソリン等の使用量から二酸化炭素排出量を計算し、記録する環境家計簿に取り組む。 ● 「ぎふエコアクション」へ積極的に参加する。 ● 家庭でのエネルギー使用状況が見える化し管理するためのシステムであるHEMS※の導入を検討する。

※HEMS:「Home Energy Management System(ホーム エネルギー マネジメント システム)」の略で、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりするシステム。

1-4 脱炭素型ライフスタイルへの移行促進

市	● 「デコ活」の普及啓発を行う。
市民	● デコ活アクションを実践する。 ● 無理のない範囲で節電・節水を心がける。

コラム:デコ活

「デコ活」とは、二酸化炭素(CO₂)を減らす(Decarbonization)と、環境に良い(eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉で、令和32(2050)年カーボンニュートラル及び令和12(2030)年度削減目標の実現に向けて、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、国民・消費者行動変容、ライフスタイル変革を後押しするための新しい国民運動です。大阪府では、本取組に賛同し、「デコ活宣言」をしました。「デコ活」の推進により、住民の行動変容、ライフスタイル変革を後押し、炭素社会の実現を目指します。



施策 2 事業活動における省エネルギー対策

事業者に対して、情報提供、普及啓発を行うことにより、省エネ性能に優れた建築物の普及を進めるとともに、エネルギー使用量の把握や省エネルギー性能の高い設備、機器の自主的かつ計画的な導入を促進します。

2-1 建築物の省エネ促進

市	● 新築建築物における ZEB※について情報提供する。 ● 建物の高断熱化等の省エネ化に関する効果や補助制度について情報提供する。
事業者	● 既存のオフィス、事務所について、省エネ改修の実施を検討する。 ● オフィスや事務所等の新築にあたっては、ZEB※を検討する。

※ZEB:「Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略で、快適な室内環境を保ちながら、省エネと創エネにより、「建物で消費する年間の一次エネルギーの消費量を正味(ネット)でゼロにすることを目指した建物」のこと

2-2 省エネ設備の導入促進

市	● 高効率換気空調設備、高効率照明機器等の省エネ性能の高い設備・機器導入について情報提供する。
事業者	● 古くなった照明や空調機器を省エネ性能の高いものに更新する。 ● 小売事業者の場合、統一省エネラベルの表示に努める。

2-3 エネルギー消費量の見える化の促進

市	● エネルギー消費量や二酸化炭素排出量の見える化を促進する。 ● BEMS (ビルエネルギーマネジメントシステム) の情報提供を行う。
事業者	● 毎月の請求書に記載してある電気使用量やガス使用量などをグラフ化して、増減の要因を確認しながら、使用量の見える化と管理を行う。 ● 個々の設備のエネルギー使用状況(定格電力、使用時間など)を把握して、エネルギー使用量の大きな設備から優先的に省エネ対策の実施を検討する。 ● BEMS の導入について検討し、オフィス内のエネルギー消費の傾向把握や管理の高度化に努めます。

※BEMS:「Building and Energy Management System (ビルエネルギーマネジメントシステム)」の略で、IT を利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うシステム。

2-4 スマート農業の推進

市	● スマート農業技術実証の取組みについて情報提供する。 ● スマート農業の先進事例について情報提供する。
---	---

2-5 脱炭素経営への移行促進

市	● 一般財団法人「岐阜県公衆衛生検査センター」が推進する省エネ診断等のサービスについて情報提供を行う ● 金融機関や商工会と協力し、セミナーの開催を検討する。 ● 脱炭素経営に関する支援や補助制度についての情報を提供する。 ● 二酸化炭素排出量の把握、削減目標や計画策定に関する支援を検討する。 ● 脱炭素経営に取り組む事業者の意欲向上と取組の横展開を図るため、先進的な取組を行う市内事業者を表彰する制度の導入を検討する。
事業者	● 省エネ診断等を受診し、省エネ機器の設置や設備機器の見直し等を行う。 ● 温室効果ガス削減計画の策定等により、脱炭素経営を実践する。 ● ISO14001、エコアクション21等の環境マネジメントシステム導入を検討する。 ● 事業で排出する温室効果ガスの状況や環境報告書等の作成・公開を検討する。 ● サプライチェーン排出量の算定に取り組み、可能な範囲で把握に努める。 ● 岐阜県が実施する「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」に参画を検討する。

【関連コラム、図、写真等必要に応じて挿入】

施策 3 地域における省エネルギー対策

市の実情に応じた公共交通体系の構築を推進し、公共交通機関等の利便性の向上を図り、普及啓発を行うことで市民の利用を促進します。自動車交通における環境負荷の低減のほか、蓄電、給電機能の活用等社会的価値にも着目し、ZEV※への転換を促進し、併せて国等の制度の活用によるインフラ整備を促進します。

さらに、効率的な土地利用や交通流対策等によるコンパクトなまちづくりを推進します。

3-1 公共交通機関等の利用促進

市	● 「みずほバス」等、市内の公共交通機関の利便性向上に努める。 ● ノーマイカーデーについて普及啓発を行う。
市民	● 外出時の移動はできるだけ公共交通機関を利用する。 ● 近距離の移動については、徒歩や自転車の利用を心がける。 ● ノーマイカーデーに参加を検討する。
事業者	● 近距離の移動は徒歩や自転車を利用するなど、業務に伴う移動の手段を見直す。 ● 従業員の公共交通機関や自転車、徒歩での通勤を奨励する。 ● ノーマイカーデーの導入を検討する。

3-2 ゼロカーボンドライブの促進

市	● 次世代自動車や充電インフラ設備に関する国等の補助制度についての情報を提供する。 ● 「第4次瑞穂市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、公用車を電気自動車やハイブリッドカー等の環境負荷が少ない電動車へ更新する。 ● アイドリングストップ、急発進・急加速を行わない等の環境負荷を低減するエコドライブの普及に努める。
市民	● 自動車を購入・更新する際は、次世代自動車（ZEV）※を検討する。 ● エコドライブを実践する。
事業者	● 自動車を購入・更新する際は、次世代自動車（ZEV）※を検討する。 ● エコドライブを実践する。

※ZEV:「Zero Emission Vehicle」の略で、排出ガスを一切出さない電気自動車や燃料電池車を指す。バッテリーだけで動く電気自動車（Electric Vehicle／EV）や燃料電池車（Fuel Cell Vehicle／FCEV）がZEVに含まれる。

3-3 公共施設の省エネ化推進

市	● 省エネ機器を積極的に導入する。 ● 「第4次瑞穂市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、公共施設（市営住宅を含む）について ZEB・ZEH 化を推進する。 ● LED 照明への交換していく。
---	--

3-4 コンパクトな脱炭素型まちづくりの推進

市	● 「瑞穂市第3次総合計画」の「都市空間像の構成要素」の配置イメージに基づき、JR 穂積駅周辺及び市内各所において、生活拠点を形成する。 ● 徒歩や自転車利用の環境を整備する。
---	--

【関連コラム、図、写真等必要に応じて挿入】